

養殖關係

一、海綿養殖試驗

一、趣旨

本試驗ハ前年度來ノ繼續事業ナリ本縣沿岸ニ於ケル天然海綿ノ分布ハ比較的範圍廣ク殊ニ久米島具志川村ハ縣ニ於テ比較的多量ノ生産アルト良質ナル事ハ既報ノ如シ本場品ノ需要年々增大スルニ鑑ミ將來ノ發達ヲ期待シ業トシテノ基礎ヲ確定スペク品質ノ改良ト經濟方面ノ試驗ヲ行フタメ本試驗ヲ開始セリ。

二、試驗ノ経過

從來ノ何等海綿ニ對スル試賣評價ヲ試ミザリシ爲メ本縣養殖海綿ノ商品的價值ニ付テハ確知シ得ザリシニ依リ年度ハ精製セル海綿ヲ東京大阪ノ兩斡旋所ニ送リ試賣評價ヲ依頼セシニ宮古郡平良町松原地先ニ於テ養殖セシ綿ハ形狀扁平且ツ品質粗惡ニシテ商品トシテノ價值少ナキ事確知セリ且ツ久米島ニテ食殖セシ海綿ハ形狀品質ニ優良ニシテ輸入品ト比較品評スルニ殆ド遜色ヲ認メラレザリシニヨリ本年度ノ該養殖試驗地ハ久米島一ヶ所決定セリ。

三、試驗施行方法

試驗方法ハ前年度ト同様ナリ即チセメント五樽ヨリ三角盤七三八個ヲ製作シ古三角板六九個丸板一、四三五個一使用シテ三角板八〇七個丸板一四三五枚ニ種苗植付投入セリ

四、試驗地ニ於ケル水溫比重

日 時

天 候

雲 量

風 向

風 力

氣 溫

水 濱(表面)

比重表面
換算

偏

考

八月四日午後一時十分

晴

三〇

全

比重

八月五日午後一時

全

二九

全

持合

八月六日午後一時

全

二八

全

比重計

八月七日零時三十分

全

二七

全

テ

八月八日零時四五分

全

二六

全

沈ミ

八月八日零時四五分

全

二五

全

測定

八月九日午前九時十分

全

二四

全

出來

八月十一日午前九時十分

全

二三

全

ズ

八月十一日午後一時六分

全

二二

全

比重測定出來

八月十一日午後一時六分

全

二一

全

ス

八月十一日午後一時六分

全

二〇

全

比重測定出來

八月十一日午後一時六分

全

一九

全

ス

五、漂白

材 料

久米島ニテ養殖セシ海綿ハ取揚後海濱ノ砂中ニ埋メ數日間放置シ而出シ腐敗セル有機物ヲ洗滌シ海綿体ニ混セル砂礫及夾雜物ヲ除キ一八〇個ヲ得タリ

ロ、漂白薬ノ種類

漂白薬品ノ種類ハ鹽酸過マンガン酸カリ、檸酸炭酸曹達等ニシテ稀釋ノ割合ハ鹽酸3%過マンガン酸5%檸酸%炭酸曹達7%割合ニテ鹽酸五磅過マンガン酸カリ五磅檸酸十磅炭酸曹達三磅ヲ使用セリ

ハ、漂白方法

右海綿ヲ清水ニ浸漬シ夾雜物ヲ除キ取り上ゲテ良ク搾リ之ヲ豫メ用意セル鹽酸液中ニ入レ殘存セル砂等ヲ除良ク搾リ清水ニ洗ヒソレヨリ過マンガン酸カリ液ニ浸漬シ紫褐色ヲ呈セシ頃取上げテ水洗ヒナシソレヲ檸酸中ニ入レ脱色シ水洗後炭酸曹達液ニ浸漬スレバ彈力ヲ増スト同時ニ淡黃色ヲ呈スルヲ以テ取揚ゲ水洗ヒナ乾燥シテ操作ヲ終ルモノトス。

六、宮古養殖海綿ノ取揚

宮古郡平良町松原地先ニ投入養殖セシ海綿（昭和二年三月及全年十一月投入ノ分）ヲ本年三月四百四十個取ゲシニ前年同様潮流ノタメカ上方ニ伸ビルモノ少ナリ扁平ニ成長スルモノ大部分ヲ占メ海綿トシテノ價値ニ乏依テ同方面ノ試験ハ本年度ヲ以テ打切ルコトトセリ。

二、麒麟菜養殖試驗

一、趣旨

前年度ニ引續キ本試験ヲ行ヒ斯業ノ増殖奨励ニ資セントスルモノニシテ概要次ノ如シ。